

和鋼博物館へようこそ

和鋼博物館は、この地方で広く使用されていた日本独自の鉄鋼製錬用具である「たたら炉」の歴史と発展を紹介する博物館である。

展示品を見学する前に、シアタールームに立ち寄り、たたら製鉄の工程を紹介する 15 分の映画を見ることをお勧めする。この短い紹介動画は、世界で唯一、たたら製鉄法で製鉄を行っている日刀保たたら製鉄所の製錬作業を捉えたものである。粘土、砂鉄、木炭といったシンプルな材料を使用し、玉鋼（たまはがね）と呼ばれる高級鋼が作られる過程を紹介している。希望に応じて英語字幕版も視聴可能である。

1 階と 2 階の展示室では、この地域の鉄工技術革新の歴史を紹介している。鉄鉱石の製錬技術が日本に伝わったのは 6 世紀後半のことで、やがて、より豊富な砂鉄を製錬する方法が開発された。効率と品質の両方を最大化するために、鉄工職人たちは大規模な原料供給源を見つけ、より強力なふいごや炉を設計した。20 世紀の近代製鉄の進歩により、硬度と耐久性で名高い新しい鋼種である安来特殊鋼が生み出された。安来特殊鋼は、硬くて丈夫なことで知られている新しい鋼種で、現在も地元で生産されている。安来鋼は、この数世紀にわたる歴史の中で、最も新しい章である。